

一般質問通告書

受領日時 令和4年5月30日 午前10時35分

1番 氏名 工藤政彦

質問項目	質問の要旨
1 県道4号主要地方道能代五城目線の道路整備について	<p>(1) 全線において舗装の経年劣化が進み、路面亀裂箇所が多い。計画的に舗装工事を行うよう県に要望し早期に実現願う。</p> <p>県道4号主要地方道能代五城目線は、簡易的なパッチング補修では毎年のものであり、すぐに車道が傷み危険な状態である。</p> <p>国道285号線からの接続、大手地区から黒土地区、湯ノ又地区、浅見内地区、三種町経由能代市までの県道であるが、五城目町管内が穴ぼこが多く荒れている現状だ。</p> <p>大手地区から浅見内地区の約6kmを一挙に舗装改修工事を実施していただければありがたいのだが、県は全県を相手にしているので予算の調整が大変だと感じる。工区を設定して施工する方法もあると思うがどうか。早期に補修されることを希望する。</p> <p>(2) 浅見内地区の車道区域に電柱数本が現存し、車両通行に支障をきたしている。早期の移転を希望する。</p> <p>(3) 浅見内地区、「湯ノ越温泉」入口付近の車道拡幅と狭隘カーブの緩和を早急に改良希望する。</p> <p>(4) 県道4号主要地方道能代五城目線は、県道整備促進期成同盟会等の要望で狭隘なカーブの緩和や歩道の設置（黒土地区）、道路拡幅などが少しずつではあるが整備されて来た。しかし、湯ノ又公民館付近の拡幅改良工事、橋梁整備工事、浅見内札ノ前地内の橋梁整備工事などが進んでいない。バイパス案があるから整備に着手せずにいるのか。そのような県の方針はあるのか。</p>
2 火の見櫓の老朽化に伴う危険性について	<p>(1) 全町に火の見櫓は、何基設置されているか。</p> <p>(2) 時代の移り変わりにより「火の見櫓」はその役割、機能を終えていると思うが、老朽化による倒壊の恐れのあるものはないか。あるとしたら、年次計画を組み撤去の必要があると思うが。</p>

<p>3 土砂災害特別警戒区域への対応について</p>	<p>(1)五城目町には、「土砂災害特別警戒区域」の内、著しい危険が生じる恐れのある区域、いわゆるレッドゾーン箇所は何箇所あるか。</p> <p>(2)レッドゾーン箇所における安全策、例えば土砂崩壊防備などを目的とした保安林を農林水産大臣または都道府県知事に指定申請できないか。</p> <p>{・例えば湯ノ越温泉だが、温泉の復活により入湯客が多くなっている。この箇所は、湯ノ越温泉からグループホーム湯ノ越の家、またディーサービスセンターそして、住宅地へと広範囲にわたるレッドゾーン区域である。標高 200 メートルほどの山の急斜面が崩落、地滑りを防ぐための一つの手段と考えるが。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在は、松が植林されている。(松は根が深く張り、崖崩れを防ぐと言われるが、伐採されると大変なことになると推察する) ・未曾有の災害(震度6強の地震など)を警戒する必要あり。}
<p>4 街並みの景観について</p>	<p>(1)五城目町には、京都のような景観条例というものは無いが、街路樹であったり、街灯であったりと樹木の種類や灯具の選定等について、どうでも良いということは考えていないと思う。(街路樹においては「五城目町街路樹管理計画策定委員会」で協議を重ね、より良い計画の策定を目指すとする)</p> <p>最近思うに、「県道秋田八郎潟線」町中を通る中央線の街路灯の電球の取り替え(オレンジ色の暖色系の電球からホワイトの電球に変更)を実施すると、町長の施政説明で明らかになった。</p> <p>照度の関係から変更と言われていたが、雨が降ったら、舗装道路も歩道も黒っぽく暗い。雪道であれば、銀白色に照らされ非常に冷たい感じを受ける。暖色系の今までのオレンジの電球は暖か味を感じ心も和む。照度的にもそんなに変わらないと思う。灯具も吊り下げ型であり、オレンジの電球が適切だと思う。LEDでも暖色系の電球はあるのでないか。</p> <p>せっかくの五城目町らしい景観がなくなるような気がする。</p>